

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
大事業	301	秘書事業			中事業	01	秘書事務事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総務部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		秘書広報課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		市長の資産等の公開に関する条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	5,854	5,875	6,574	△ 21
	人件費	12,745	13,036	13,664	△ 291
	総事業費	18,599	18,911	20,238	△ 312
人員	正職員	1.90 人	1.95 人	1.95 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.90 人	1.95 人	1.95 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	151	0
	一般財源	18,599	18,911	20,087	△ 312

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
市長及び副市長による円滑な市政運営に資するため、日程調整などのスケジュール管理を行うとともに、市としての渉外及び交際を行う。

【事業の概要】

- ・市長及び副市長の秘書に関する業務
- ・市の渉外及び交際に関する業務

○旅費（市長、副市長県外出張特別旅費）	641 千円
○交際費（会費・弔慰・激励金など）	1,501 千円
○需用費	389 千円
・消耗品費（事務経費、新聞代など）	358 千円
・食糧費（お茶代）	9 千円
・印刷製本費（市長、副市長名刺印刷代）	22 千円
○役務費 手数料（クリーニング代など）	12 千円
○使用料及び賃借料（車両借上料、有料道路通行料など）	386 千円
○負担金	2,925 千円
・会議参加負担金	293 千円
・全国市長会負担金	428 千円
・福井県市長会負担金	2,184 千円
・「創生福井」首長の会費	20 千円

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	会議・行事・催事等の出席率	%	目標					
			実績		65.4	63.2	65.3	64.7
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		市長及び副市長に案内のあった会議等に係る出席率						
独自指標	市民一人あたりの交際費の額	円	目標					
			実績		16.4	16.0	18.0	23.3
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		交際費決算額÷令和2年4月1日現在の人口						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	市長及び副市長に係るスケジュール管理を適切に行い、市として必要となる各種会議等への出席を行いました。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			県内や全国での秘書業務を鑑みながら、事務を取り計らっていきます。
成果と改善点	市長交際費の支出は、支出基準に基づき、社会通念の範囲内での適正な執行に努めるとともに、支出状況を市ホームページで公表しました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	経常的に行っていく事務であるため。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	02	文書広報費
大	事	業	101	広報広聴事業	中	事	業	01	広報広聴事業
小	事	業							他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総務部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進	部局	秘書広報課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 「広報さかい」の発行や市長記者会見を通じ、市民に対して市政情報を提供するとともに、各種広聴事業を通じ、市民からの意見を市政に反映することにより、笑顔があふれる住みよいまちづくりを目指す。

【事業の概要】

- ・「広報さかい」の発行に関する業務
- ・市長記者会見に関する業務
- ・広聴事業に関する業務
- ・市勢要覧の改訂発行に関する業務

○報償費（視察時御礼）	5千円
○旅費（研修参加特別旅費）	63千円
○需用費	18,426千円
・消耗品費（取材用消耗品費）	32千円
・印刷製本費（広報印刷費など）	18,365千円
・修繕料（取材用カメラレンズ修理）	29千円
○役務費 広告料（新聞広告）	290千円
○委託料（市勢要覧作成業務）	2,916千円
○使用料及び賃借料（広報紙編集機器借上料）	475千円
○負担金（研修参加負担金など）	90千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	22,265	18,556	21,624	3,709
人件費	16,770	15,710	16,466	1,060
総事業費	39,035	34,266	38,090	4,769
人員				
正職員	2.50 人	2.35 人	2.35 人	0.15 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	2.50 人	2.35 人	2.35 人	0.15 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	992	1,128	728	△ 136
一般財源	38,043	33,138	37,362	4,905

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	「広報さかい」総ページ数	ページ	目標					
			実績		356	364	368	380
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		「広報さかい」総ページ数						
指標	市長記者会見・懇談会の開催回数	回	目標					
			実績		11	10	11	11
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		市長記者会見・懇談会の開催回数						
指標	集団広聴の開催回数		目標					
			実績		1	2	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		集団広聴の開催回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	「広報さかい」の発行や市長記者会見の開催を通じ、市民に対して適切に市政情報を提供しました。集団広聴などの広聴事業を通じ、市民から意見等に傾聴する機会を設けました。							

6.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
<p>『広報さかい』発行業務については、従来の紙媒体での全戸配布に加え、市ホームページや広報紙配信アプリ「マチイロ」、全国自治体の広報紙をまとめたインターネットサイト「マイ広報紙」への掲載により、市民が市政情報を得られやすくなるように努めていますが、併せて、市民が市政情報に対して関心を持ってもらうことや、市民のシビックプライドを醸成していくことも必要です。 広聴事業では、従来の記者会見懇談会の機会を有用に活かしながら、市政情報の発信に努めていきます。</p>			
成果と改善点	<p>「広報さかい」の発行や市長記者会見を通じ、市民に対して市政情報を提供しました。 「広報さかい」は、6月号の表紙写真が福井県広報コンクール写真部門において、3年連続の知事賞を受賞。また、10月号の特集が同コンクール広報紙部門において、知事賞を受賞しました。 市勢要覧は、これまで坂井市誕生後に作成したものを一部修正をしながら利用してきましたが、「手紙」をテーマに紙面を刷新し、改訂発行をしました。(2,000部作成)</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	<p>今までの取組みを継続していきますが、発行の頻度(回数)については、適宜検証・検討を行っていきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	02	文書広報費
大	事業	101	広報広聴事業	中	事業	11	行政チャンネル運営事業		
小	事業								他 事業

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総務部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進	部局	秘書広報課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 ケーブルテレビを活用し、行政チャンネル（坂井チャンネル）において、坂井市が企画制作した市政情報や地域の魅力を発信する番組を放送する。また、行政チャンネルのデータ放送及び文字放送を活用して、市民にとって身近な情報や防災情報などを発信する。

【事業の概要】

- 番組放送に関する業務
 （市政情報、地域の出来事・イベント、市長記者会見及び市議会定例会等）
- 文字放送に関する業務（赤ちゃん誕生、お悔やみ及び市からのお知らせ情報）
- データ放送に関する業務（防災情報、防災行政メール情報及び文字放送との自動連携）

○需用費		14千円
・消耗品費（取材用消耗品費）	13千円	
・食糧費（お茶代）	1千円	
○役務費 損害保険料（取材機器保険料）		7千円
○委託料		36,315千円
・行政チャンネル管理委託料	14,995千円	
・行政チャンネル番組制作委託料	21,320千円	
○使用料及び賃借料（収録システム機器借上料）		335千円

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	36,671	37,477	36,913	△ 806
人件費	15,428	11,699	12,262	3,730
総事業費	52,099	49,176	49,175	2,924
人員				
正職員	2.30 人	1.75	1.75 人	0.55 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	2.30 人	1.75 人	1.75 人	0.55 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	35,000	0	△ 35,000
一般財源	52,099	14,176	49,175	37,924

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	ケーブルテレビ加入率	%	目標					
			実績		68.6	68.6	68.2	67.4
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明		さかいケーブルテレビ加入率					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	ケーブルテレビ加入率は、前年度比では増減が見られませんでした。月別で見ると、春先に大きく減少した後、年度末に向けては増加傾向で前年度と同じまで増加しています。							

6.事業に対する評価

	妥当性に課題	有効性に課題	
現状と課題	ケーブルテレビ加入率の増加やこれまでの番組制作の取り組みにより、行政チャンネルに対する市民の認知度は徐々に向上していると捉えています。しかし、ケーブルテレビ加入率は、ここ数年微増の状況であり、これ以上大きく増やしていくことは難しい状況です。		
成果と改善点	<p>「行政チャンネル」では、夏に2つの番組のリポーターを替えて、番組の雰囲気を変化させました。併せて、今まで紹介したことがない地域やイベントなどを取り上げるようにし、また、取材先も市内の隅々に広がるよう配慮しながら、市内の様々な魅力発信に努めました。</p> <p>3月には、新型コロナウイルス感染防止の観点から多くの市内イベント等が中止になり、番組制作に支障が生じ始めましたが、庁内各部署からの協力を得て、新しいコーナーの撮影準備を進めました。緊急の情報については、その都度、文字放送で必要な情報を随時発信するよう努めました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	改善（見直し）
方向性の理由	<p>自分たちの住む地域に愛着や誇りをもってもらえるよう、番組を通して市の魅力を発信していきながら、新たに「市民が主役」となるような市民の魅力を発信していく番組作りを心掛けていきます。</p> <p>現在の放送機器は、番組のハイビジョン化に伴い、平成26年度にハイビジョン対応のものに切り替えています。その機器の使用・保守が令和6年度で契約満了となるため、そのタイミングをとらえて行政放送の継続や番組制作規模等についての検討を行います。</p>

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	02	文書広報費
大事業	101	広報広聴事業			中事業	16	ホームページ運営事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総務部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進	部局	秘書広報課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	インターネットを活用し、市ホームページにおいて、リアルタイムに市政情報やイベント情報を提供するとともに、市の魅力を発信する。	
【事業の概要】	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページの管理・運営に関する業務 坂井市インターネット放送局（ムービーさかい）による動画配信に関する業務 	
○委託料	3,184 千円	
・インターネットWEB構築委託料	511 千円	
・ホームページ更新システム保守委託料	2,673 千円	

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	3,184	2,624	3,123	560
人件費	5,366	6,351	6,657	△ 984
総事業費	8,550	8,975	9,780	△ 424
人員				
正職員	0.80 人	0.95 人	0.95 人	△ 0.15 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.80 人	0.95 人	0.95 人	△ 0.15 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	8,550	8,975	9,780	△ 424

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	ホームページ訪問件数（セッション数）	万件	目標	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0
			実績		117.0	116.0	110.8	95.6
			達成率(%)	0.0	97.5	96.7	92.3	79.7
指標	指標の説明		ホームページ訪問件数（セッション数）					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	ホームページ訪問件数（セッション数）は目標値には達しなかったものの、前年度比約4.7%増となりました。							

6.事業に対する評価

	有効性に課題		
現状と課題	ホームページを活用した情報発信の強化と閲覧者の利便性の向上にさらに努め、ホームページ訪問件数の増加を図っていきます。		
成果と改善点	市職員を対象とした「ホームページ更新システム操作研修会」を開催するなど、情報発信に関する職員の意識向上に継続して取り組みました。3月からの新型コロナウイルス感染拡大の際には、市民向けの行政情報やイベント情報などを取りまとめたページを設け、随時情報の更新を行いながら情報提供を行うなど、ホームページの機能を活用して、市内外に対して適切な情報の提供に努めました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	改善（見直し）
方向性の理由	市民が知りたい情報にたどり着きやすく、また、市が届けるべき人に情報を伝えることができるようにすることを目的に、トップページをどのように見やすくしていくかを検討します。 今回の新型コロナウイルス感染症なども含めた緊急事態に対し、トップページも含め柔軟に対応できるよう、最も伝えたい情報を画面上に画像なども交えて、大きく表示するリキッドデザイン(画面の大きに応じてホームページの各項目が対応していく)の採用や、知りたい情報に到達する検索方法の提示などにも取り組んでいきます。 シティプロモーションの観点から、全国広報コンクールで受賞している他市町の取組みを参考に、SEO(検索結果リストの上位に表示させるためにする様々な工夫)やより魅力的なデザインなどについても検討していきます。